

2022年度 名古屋大学大学院教育発達科学研究科・教育学部 研究生在学期間延長出願要項

本研究科及び本学部の研究生のうち、在学期間の延長を希望する者について、選考の上、これを許可する。

1. 延長可能期間

6か月～1年以内（秋学期の申請は6か月）

2. 出願手続

希望者は、指導教員の内諾を得たうえ、出願期間内に出願書類を提出すること。

3. 出願書類等

- (1) 研究生在学期間延長願 [様式1]
- (2) 研究生在学期間延長理由書 [様式2]
- (3) 研究生研究報告書（中間報告）（様式任意。表紙に [様式3] を用いること。）
- (4) 返信用封筒（角形2号封筒に140円切手を貼付し、受信場所及び氏名を記入したもの）

4. 出願期間

延長時期	出願期間
春学期 (4月)	2022年2月17日(木)、2月18日(金) 郵送のみ(16:00必着)
秋学期 (10月)	2022年8月25日(木)、8月26日(金) 9:00～12:00, 13:00～16:00 ※受付方法については変更の可能性あり

[注意] 郵送の場合には、封筒の表に「研究生在学期間延長出願書在中」と朱書きし、書留郵便にて出願期間内に必着するよう提出すること。

5. 選考方法

書類により選考を行う。必要ある場合には面接を行う。

6. 出願書類等の提出先

名古屋大学文系教務課（教育担当）に提出のこと。

7. 延長許可

延長の許可又は不許可は決定次第、本人あて通知する。

8. 延長に要する経費

授業料 月額29,700円（春学期・秋学期の区分ごとに、それぞれ178,200円を納入）

*ただし、在学中に授業料の金額が改定された場合は、改定時から新たな金額が適用される。

9. 注 意 事 項

- (1) 出願後、提出書類は返付しない。
- (2) 納入済みの授業料は返付しない。

10. その他（障害のある者等の出願）

障害等があつて、選考にあたり面接を行う場合、試験場での特別な配慮を必要とする者にあつては、出願期限までに、以下3点を文系教務課（教育担当）まで提出すること。

- (1) 受験上の配慮申請書(障害の状況、受験上配慮を希望する事項とその理由等を記載したもの)
(様式随意、A4サイズ)
- (2) 障害等の状況が記載された医師の診断書または障害者手帳の写し
- (3) 障害等の状況を知っている第三者の添え書(専門家や出身学校関係者などの所見や意見書)。なお、必要に応じて、適宜それ以外の書類を添付しても差し支えない。

また、試験に関して相談の希望がある者は、出願期限までに文系教務課（教育担当）まで問い合わせること。

入学後の修学に関して相談の希望がある者は、文系教務課（教育担当）及び障害者支援室にて随時受け付けているので、問い合わせること。

【障害者支援室】

TEL 052-747-6963

Email nudso@adm.nagoya-u.ac.jp

〒464-8601 名古屋市千種区不老町 名古屋大学文系教務課（教育担当） TEL 052-789-2606(直通) Email educa@adm.nagoya-u.ac.jp
--

研 究 生 在 学 期 間 延 長 願

年 月 日

名古屋大学 教育学部長 殿
教育発達科学研究科長

現住所 〒

入学年月 年 月

フリガナ

氏 名 印

生年月日 年 月 日
(西暦)

電話番号

メールアドレス

下記により、貴 学部 において、下記のとおり引き続き研究生を希望しますので、
大学院 ※
在学期間の延長をご許可くださるようお願いいたします。

記

研究領域

研究テーマ

指導教員 ①

現研究期間 年 月 ～ 年 月

延長願出期間 年 月 ～ 年 月

以上

※ いずれかに○を打つこと

提出年月日： 年 月 日

_____年度

学部
大学院
※

研究生研究報告書

研究領域 _____

研究テーマ _____

研究期間 年 月 ~ 年 月

研究生氏名 _____

- [注意] 1. 研究報告書の表紙にこの様式を用いること。
2. サイズはA4版に限る。

指導教員

印

※ いずれかに○を打つこと